

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2015年4月2日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

ストップ！ 消費税増税・社会保障改悪

4.1 いのちと暮らしを守れ！怒りの全国いっせい宣伝 安倍暴走政治に地方から審判を

4月1日、「いのちと暮らしを守れ！怒りの全国いっせい宣伝」が、札幌中心街でも、消費税廃止各界連や後期高齢者医療制度に怒る会、社保協などの共催で行われました。若者から高齢者まで、多くの方が足を止め、署名に協力してくれました。

毎年4月1日、消費税が導入された年から、その廃止や値上げを止めさせるため、諸課題の改善とともに取り組んでいます。昨年、「消費税は社会保障の充実のため」と増税しましたが、社会保障が改悪され、住民のくらしや地域経済が脅かされています。

今年4月から、年金(実質的)・生活保護の引き下げ、介護保険料の値上げ・介護報酬の引き下げ・介護制度の改悪が行われます。さらに、物価が上がり、安倍政権は、後期高齢者医療保険料の大幅値上げなどの医療制度や労働法制の改悪、命を奪う戦争立法も成立させようとしています。改悪をやめさせましょう。



生活保護の引き下げやめて

1日 生活保護費支給日 各地で宣伝行動



4月から3回目の生活扶助費引き下げが行われました。最大10%の引き下げです。また住宅扶助費や冬季加算の引き下げも行われようとしています。4月1日の生活保護費支給日に、各地で宣伝署名行動が行われました。(写真は、厚別区で行われた行動の様子。12名が参加しました)

また、3月25日、「新・人間裁判」第1回口頭弁論が行われました。次回は6月10日です。生活保護制度を改善させる取り組みを広げましょう。

新婦人 介護カフェ

介護困っています！介護職員の処遇改善を

新婦人では、テーマを決めてカフェ形式で学習・懇談会をおこなっています。3月17日、札幌市北区で「介護カフェ」が行われ、35人が参加しました。「エッ介護保険が改悪されるって」と題して、介護事業所の責任者が講演し懇談しました。

参加者からは、「介護制度の改悪はひどい」「今でも困っています」、介護職員をしている子どもや孫が「賃金が安く処遇が酷いため、大変」、中には病気になり仕事を辞めたなどの発言もありました。懇談後、「この国は、老人に冷たいですね。この先不安です」など、政府へ提出する「私は言いたいカード」に書き入れました。



最高額は6150円。1600円・48.48%値上げの自治体も 道内の介護保険料明らかに 国の負担の大幅増額と自治体の軽減策が必要

北海道が道内の保険者(156)の第6期介護保険料を公表しました。道内全体では月額平均が5134円で前期比10.9%増です(引き上げが142、据置が10、引き下げが4)。保険料減免などの取り組みを広げましょう